令和３年８月　加茂市長定例記者会見
Ｒ３．８．３（火）　１０：００

１　新型コロナウイルスワクチン接種について

7 月 19 日に 40 歳から 49 歳の方全員と、7 月 26 日に 12 歳から 39 歳の方全員に接種券を発送いたしました。これで、ワクチン接種の対象者全員に接種券を発送したことになります。年齢は令和 3 年度の到達年齢ですが、12 歳の方は年齢に到達してから順次発送いたします。予約方法はコールセンターへ電話するか、インターネット、市役所健康福祉課の窓口で受付しています。また、12 歳から 15 歳の方は、個別接種のみとなります。予約方法は送付時に封入される案内をご覧ください。

また、8 月 7 日から新潟県が設置する大規模ワクチン接種会場（朱鷺メッセ）で加茂市民も接種できるようになりました。対象は接種日 時点で 18 歳以上の方で、朱鷺メッセで 1 回目・2 回目の接種が可能な方です。使用するワクチンは 2 回ともモデルナ社製で、1 日 50 名まで受付いたします。加茂市内で行うワクチン接種は、モデルナ社製ワクチンは扱っていませんのでご注意ください。予約方法はコールセンターへ電話するか、インターネット、市役所健康福祉課の窓口で受付しています。

加茂市では、ワクチン接種は関係する皆様のご協力で、計画どおり進んでいます。7 月・8 月に供給されるワクチンの量は、希望した量よりも少なくなりましたが、今後、供給される量を試算したうえで、11 月までの接種予定を設定いたしました。また、優先接種している保育士等の園関係者は 7 月末までに接種を完了し、教職員等の学校関係者は 8 月末までに接種を完了する予定です。加茂市では、ワクチン接種を希望される方が 11 月末までに接種できるよう進めていきたいと思っています。

２　東京オリンピック体操競技のフィリッパ選手とＲＯＣ（ロシアオリンピック委員会）体操チームの結果（団体戦と個人総合）について

7 月 12 日から 18 日の間、加茂市体操トレーニングセンターで事前キャンプを行ったポルトガル女子体操フィリッパ・マルティンス選手が、7 月 25 日（日）に東京オリンピックの体操女子予選に出場しました。

予選当日は美しく丁寧な演技を披露し、得意の段違い平行棒も素晴らしい演技を通し切りましたが、個人総合予選 43 位で、通過ラインに「11」届きませんでした。

また、段違い平行棒では 14.300 という高得点を出しましたが「0.266」足りずに種目別決勝へ進むことはできませんでした。

結果は非常に残念ですが、皆様からいただいた沢山の温かい応援メッセージにより力をいただいたフィリッパ選手は、終始笑顔で演技していました。

次に、7 月 26 日（月）に行われた体操男子団体決勝と 27 日（火）の体操女子団体決勝において、ＲＯＣ（ロシアオリンピック委員会）の体操団体チームが男子は日本と、女子はアメリカとの接戦を制し、見事に男女とも金メダル獲得という偉業を達成されましたことに、ロシアのホストタウンとして心よりお祝いを申し上げます。

ＲＯＣの団体メンバーは男女共に 2019 年 7 月に加茂市体操トレーニングセンターにおいて、事前キャンプを実施した選手です。加茂市で練習を行った選手たちが、オリンピックという大舞台で活躍し、金メダルを獲得したことを大変光栄に思っております。

また、28 日（水）に行われた男子個人総合決勝ではでニキータ・ナゴルニー選手が銅メダルを獲得し、翌日 29 日（木）に行われた女子個人総合決勝でもアンジェリーナ・メルニコワ選手が銅メダルを獲得しました。

このように、加茂市で事前キャンプを行った選手が次々と東京オリンピックでメダルを獲得し、毎日が感動の連続です。これも市民の皆様からいただ

いた手紙や、応援メッセージが力となり選手が最高のパフォーマンスを発揮できているのだと思っています。

東京オリンピックの後は、世界選手権が北九州市で今年の 10 月 17 日（日）より開催予定となっています。引き続き、フィリッパ選手とＲＯＣ（ロシア・オリンピック委員会）の体操チームを応援していきます。

３　東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル採火式について

8 月 24 日（火）から開催される東京 2020 パラリンピックの聖火は、全国の市町村で熾した聖火を各都道府県で集め、それらを集結させ一つの聖火となります。

加茂市では、オリンピック・パラリンピックの大会ビジョンの一つである「多様性と調和」を念頭に採火式を開催し、代表者が火を熾します。火を熾す方法は、「マイギリ式火おこし器」を使って火を熾し、「加茂市の火」とします。

採火式は 8 月 14 日（土）の午後 4 時から、新しく生まれ変わった「加茂七谷温泉　美人の湯」の庭園で開催します。市民の皆様のご来場をお待ちしております。

なお、加茂市の火はランタンに保管された後、県内 30 市町村と同様に、8 月 16 日（月）午後 4 時から、新潟ふれ愛プラザ正面玄関前で開催される「東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル新潟県集火・出立式」において、集火台にくべられて一つになり、開催都市東京へ送られます。

４　フードドライブの実施について

加茂市と加茂市社会福祉協議会、「フードバンクかも」では、フードドライブ強化週間として、8 月 24 日から 27 日まで、加茂市役所内の社会福祉協議会と須田コミュニティセンター、七谷コミュニティセンターで、家庭や企業で余っている食品の搬入を受け付けるボランティア活動「フードドライブ」を実施いたします。

フードドライブとは、家庭や企業で余っている食品を持ち寄り、それをフードバンクや福祉団体などに寄付するボランティア活動で、集まった食品は、「フードバンクかも」を通じて、生活困窮者世帯など支援を必要とする世帯に配布されます。

ご提供いただきたい食品は米、餅、乾麺、缶詰、瓶詰、インスタント・レトルト食品、お菓子など、常温保存が可能で賞味期限が 2 週間以上ある未開封のものです。

受付時間は午前 10 時から午後 4 時までで、9 月、10 月も実施いたします。ぜひご協力をお願いいたします。

５　「加茂市消防団協力事業所表示証」交付式について

加茂市では、この度、「加茂市消防団協力事業所」として、申請をいただいた事業所の皆様に対し表示証の交付を行います。

「消防団協力事業所」とは、事業所の消防団活動への協力が広く認められ、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。

全国的に事業所等に勤務されている消防団員の割合が 8 割を超えており、加茂市でも事業所の皆様から消防団活動に対する理解と協力を得るため「加

茂市消防団協力事業所表示制度」の申請を開始しており、この度、４事業所より申請をいただきました。

この申請いただきました事業所の皆様に対して表示証を交付いたします。加茂市消防団協力事業所表示証交付式は、令和 3 年 8 月 24 日（火）午後 1 時 30 分からを予定しています。

協力事業所の認定基準は、従業員が消防団員として相当数入団（加茂市では 3 名以上）している事業所、従業員の消防団活動について積極的に配慮（消防団活動に出やすい環境づくり）している事業所、災害時に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力をしている事業所などです。

表示証の有効期限は 2 年で、継続を希望する場合は更新の手続きが必要となります。

この消防団協力事業所については、地域に貢献している事業所としてホームページ等に掲載し、お知らせする予定です、

６　県内最古の木造電車「モハ 1」について

現在、冬鳥越スキーガーデンに保存展示している木造電車「モハ 1」を長期に保存するため、県補助金（新潟県地域活性化事業）を使い、屋根をかける工事を行います。経費の一部にふるさと納税型クラウドファンディングによる寄付金を活用します。クラウドファンディングの受付期間は令和 3 年 8 月 20 日（金）から令和 3 年 10 月 31 日（日）まで、「さとふる」のホームページからご寄附いただけます。

寄附者は控除上限額内の寄付額のうち 2 千円を超える部分について、所得税と住民税の控除が受けられます。加茂市民以外の方は、寄付額に応じた返礼品を選択できます。返礼品は、鉄道模型キット モハ１ ＨＯゲージ 1/80 サイズ、鉄道模型キット モハ１ Ｎゲージ 1/150 サイズ、寄附者銘板、レール

文鎮、記念ピンバッジなど を予定しています。加茂市民の方は返礼品を受け取れませんが寄付は可能です。

また、屋根の着工を記念して、8月7日（土）に、鉄道写真の第一人者　小竹直人（こたけなおと）さんを講師にお迎えして、冬鳥越スキーガーデンとその周辺を会場に、鉄道遺跡をめぐる写真撮影会を開催します。秋には小竹直人さんの「記念講演会」と「七谷と蒲原鉄道にまつわる記念展覧会」を行いますので、楽しみにお待ちいただきたいと思います。